



## 2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <https://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 榎原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 若月 光博

TEL 052-212-9908

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,156	9.9	375	22.2	432	33.8	302	110.9
2020年9月期第1四半期	2,871	△2.5	307	△12.7	323	△18.5	143	△44.3

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 281百万円 (△32.4%) 2020年9月期第1四半期 416百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	9.80	9.76
2020年9月期第1四半期	4.49	4.46

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	21,494	7,942	35.5
2020年9月期	21,204	7,907	35.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 7,619百万円 2020年9月期 7,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	15.1	760	16.8	780	17.1	500	92.0	16.17
通期	14,500	20.3	1,650	20.6	1,700	△5.5	1,100	10.3	35.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	34,688,000株	2020年9月期	34,688,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	3,768,341株	2020年9月期	3,768,341株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	30,919,659株	2020年9月期1Q	31,979,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。又、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(その他) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり等により、国内外において経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける!」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言ってもらえる、安心・快適なサービスを提供することに加え、各事業における収益性の向上、提携先の拡大を図ることで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、3,156,080千円（前年同期比9.9%増）、営業利益は375,821千円（前年同期比22.2%増）、経常利益は432,618千円（前年同期比33.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は302,926千円（前年同期比110.9%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス1千件、水まわり関連サービス6千件、カギの交換関連サービス7千件です。会員事業における有効会員数は2,492千人、保険事業における被保険者数は556千人となっております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 駆けつけ事業

施工単価・成約率の向上が進むものの、主に他社サイトへの広告掲載を取りやめたこと等により集客が減少したため、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、374,118千円（前年同期比6.4%減）となり、営業利益は10,447千円（前年同期比63.6%減）となりました。

#### ② 会員事業

主力会員サービスである「安心入居サポート」の販売が順調に拡大したことに加え、住宅設備の延長保証サービス「安心修理サポート」についても販路拡大が奏功し、会員数が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,591,898千円（前年同期比11.2%増）となり、営業利益は410,210千円（前年同期比6.6%増）となりました。

#### ③ 保険事業

家財保険「新すまいRoom保険」の契約件数の拡大が好調に推移したことに加え、スマホ保険・スポーツクラブ傷害保険の売上が寄与したことにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,083,052千円（前年同期比13.0%増）となり、営業利益は79,164千円（前年同期比36.1%増）となりました。

#### ④ リペア事業

マンション管理会社経由の高単価な案件増加が進むものの、新築物件の引き渡し前の案件が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、64,605千円（前年同期比19.5%減）となり、営業損失は19,172千円（前年同期は営業損失19,655千円）となりました。

#### ⑤ ライフテック事業

不動産賃貸入居者向けの電力販売が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、46,430千円（前年同期比331.7%増）となり、営業損失は41,631千円（前年同期は営業損失40,321千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ85,314千円減少し、10,812,058千円となりました。これは主に、売掛金が63,207千円増加したものの、現金及び預金が145,042千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ369,723千円増加し、10,357,025千円となりました。これは主に、投資有価証券が220,322千円増加したことによるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ5,447千円増加し、324,967千円となりました。これは主に、保険業法第113条繰延資産が5,807千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ168,122千円増加し、5,251,627千円となりました。これは主に、未払法人税等が316,613千円減少したものの、短期借入金が増加したことに伴ったものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ87,366千円増加し、8,300,350千円となりました。これは主に、長期借入金が増加したものの、長期前受収益が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ34,367千円増加し、7,942,073千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したものの、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、2020年11月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,770,637	8,625,595
売掛金	724,391	787,599
商品	65,402	61,806
貯蔵品	15,668	15,710
その他	1,338,774	1,341,866
貸倒引当金	△17,501	△20,520
流動資産合計	10,897,372	10,812,058
固定資産		
有形固定資産	157,158	149,498
無形固定資産		
のれん	55,000	47,500
その他	423,605	540,114
無形固定資産合計	478,605	587,614
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560,720	7,781,043
その他	1,842,153	1,887,445
貸倒引当金	△51,336	△48,576
投資その他の資産合計	9,351,537	9,619,912
固定資産合計	9,987,301	10,357,025
繰延資産	319,520	324,967
資産合計	21,204,194	21,494,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	358,300	398,463
短期借入金	—	600,000
未払法人税等	406,852	90,238
賞与引当金	67,822	32,351
会員引当金	102,909	92,573
支払備金	61,247	57,894
責任準備金	722,540	710,847
前受収益	1,982,660	1,982,698
その他	1,381,171	1,286,559
流動負債合計	5,083,504	5,251,627
固定負債		
社債	975,000	975,000
長期借入金	1,382,824	1,302,517
資産除去債務	60,310	60,362
長期前受収益	5,657,569	5,823,930
その他	137,279	138,540
固定負債合計	8,212,983	8,300,350
負債合計	13,296,488	13,551,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	780,363	780,363
資本剰余金	4,367,861	4,367,861
利益剰余金	3,848,012	3,903,581
自己株式	△1,695,449	△1,695,449
株主資本合計	7,300,787	7,356,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291,234	263,337
その他の包括利益累計額合計	291,234	263,337
新株予約権	2,930	2,930
非支配株主持分	312,753	319,448
純資産合計	7,907,706	7,942,073
負債純資産合計	21,204,194	21,494,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,871,839	3,156,080
売上原価	1,457,297	1,714,805
売上総利益	1,414,542	1,441,274
販売費及び一般管理費	1,106,887	1,065,453
営業利益	307,654	375,821
営業外収益		
受取利息	133	2,107
受取配当金	13,557	20,577
投資有価証券売却益	3,431	115,732
その他	4,565	8,408
営業外収益合計	21,688	146,826
営業外費用		
支払利息	655	4,158
投資有価証券売却損	2	13
持分法による投資損失	—	4,708
デリバティブ評価損	—	61,961
リース解約損	550	—
貸倒引当金繰入額	1,279	—
支払手数料	1,115	4,343
その他	2,510	14,843
営業外費用合計	6,113	90,029
経常利益	323,230	432,618
特別損失		
固定資産除却損	862	82
特別損失合計	862	82
税金等調整前四半期純利益	322,367	432,535
法人税、住民税及び事業税	76,682	102,091
法人税等調整額	95,841	20,823
法人税等合計	172,524	122,914
四半期純利益	149,843	309,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,220	6,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,623	302,926



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	149,843	309,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266,743	△33,031
持分法適用会社に対する持分相当額	—	5,135
その他の包括利益合計	266,743	△27,896
四半期包括利益	416,587	281,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,366	275,030
非支配株主に係る四半期包括利益	6,220	6,694

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	保 険	リ ペ ア	ラ イ フ テ ッ ク	計		
売上高								
外部顧客への売上高	399,565	1,430,366	950,893	80,257	10,756	2,871,839	—	2,871,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	748	7,668	—	—	8,416	△8,416	—
計	399,565	1,431,114	958,562	80,257	10,756	2,880,256	△8,416	2,871,839
セグメント利益 又は損失(△)	28,681	384,699	58,153	△19,655	△40,321	411,556	△103,901	307,654

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,901千円には、セグメント間取引消去144千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,046千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	保 険	リ ペ ア	ラ イ フ テ ッ ク	計		
売上高								
外部顧客への売上高	374,118	1,591,309	1,079,615	64,605	46,430	3,156,080	—	3,156,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	589	3,436	—	—	4,025	△4,025	—
計	374,118	1,591,898	1,083,052	64,605	46,430	3,160,105	△4,025	3,156,080
セグメント利益 又は損失(△)	10,447	410,210	79,164	△19,172	△41,631	439,018	△63,197	375,821

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△63,197千円には、セグメント間取引消去2,698千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,896千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(その他)

(重要な訴訟事件等)

当社は、当社の子会社であった株式会社バイノスに対し、金銭消費貸借契約に基づき金銭の貸付を行ってまいりました。同社は2016年1月19日に福島地方裁判所郡山支部より破産手続開始決定を受けたことから、その連帯保証人である同社の元代表取締役湯川恭啓氏を被告として、保証債務の履行を求める民事訴訟を、名古屋地方裁判所に提起してまいりましたが、2020年11月10日に和解が成立いたしました。

又、同社が破産手続開始決定を受けた結果、同社株式が無価値になり損害を被ったとして、当社は、同氏より110,000千円の損害賠償を求める民事訴訟を2019年7月11日に名古屋地方裁判所に提起されてまいりましたが、こちらの訴訟についても和解が成立いたしました。

これにより、同氏との間における訴訟はすべて終結いたしました。